
リア充爆発しろ!!

蒼月緋焰

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リア充爆発しろ！！

【Nコード】

N8147Z

【作者名】

蒼月緋焰

【あらすじ】

ただ好きな人がいるというだけで、いろんな人に「爆発しろ！！」と言われ、しまいには「興味ないね」という追い打ちを食らってしまった哀れなソルジャーがいた。そんな“彼”の物語。 ザック
ス「なんで！？なんで俺、そんな風に言われなきゃいけないの！？エアリスと仲良いだけじゃん！！」 レノ「……チツ、マジで爆発してくれよ、と（イラッ）」 ザックス「だからなんで！？（泣）」

(前書き)

CPはザクエアです！！リア充なザックスが許せない人達のお話(笑)あと、FFFの世界にtwitterがある設定になってます(笑)今回の小説登場人物は全員アカウントを持つている設定です！！一応ザクエア前提ではありませんが、メイン視点はタークス(レノ、ロッド、ツオン)寄りです！！この3人+ の醜い嫉妬劇の始まり始まり…(笑)

というわけで、クリスマス企画スタート！！リア充爆発しろ！！

なお、小説内に出てくるtwitterアカウントは架空のものです。実際のアカウント名の文字数制限(最大15文字)と一致しておりませんが、いたずら防止のためにわざとそうしております。

ミッドガル…

今日は12月25日。そう、世間的にはクリスマスだと騒がれる日だ。子供たちにとってはいつもと違う豪華な料理を食べることができ、そしてクリスマスプレゼントが貰え、更にはサンタクロースというサプライズまであるビックイイベント。しかし…

「チツ、今日も残業だぞ、と…」

「クリスマスなのに…オレら、何やってんだろな…」

「口じゃなくて手を動かせ。更に仕事が増えるぞ」

「ゲツ、ツオンさん…それは勘弁だぞ、と」

「右に同じく」

「はぁ………」

大人達にとって、クリスマスだろうが平日だろうがそんなことは関係ない。たまたまカレンダー上は日曜日で休みだが、シフト制の職場にいる人間にとってはそんなものは何の意味もない。それは神羅カンパニーが誇る総務部調査課タークスも例外ではない。ここ最近、アバランチの攻撃激化と同時に、追い打ちをかけるようにジェネシスコピーの問題も発生している。連日の残業、そして休日無しの労働と…タークスはいつも以上に忙しかった。

やがて暫くして、「休憩にするか」というツオンの言葉と同時に残業組3人が休憩に入る。といっても、本部から出ることはなく…もっぱら最近流行りのtwitterを楽しむのが休憩時間の過ごし方になっていた。

「おー、またフォロワー増えてるぞ、と」

「オレも。てか、社内通知をtwitterで流すなよ、神羅カンパニー…」

「大丈夫だ、鍵がついているから情報漏えいはしないだろう」

「いやいやいや…」

「甘すぎるぞ、と」

そんな会話をしつつ、何気なくTタイムラインLを見ていた時だった。見知ったアイコンと見知ったアカウントのツイートを3人が同時に発見する。

ザックス@1st @Shin|ra|Zack|F|soldier|1st 2分前

現在、女の子と一緒にクリスマス満喫なう やっぱクリスマスはこうじゃないとなく！！今日が休みでホントに良かったぜ！！

そう、それは神羅カンパニーの精鋭部隊であるソルジャー・クラス1stに所属しているザックスのツイートだった。ソルジャーも例のごとく、アバランチやジェネシスコピートの件で忙しいことに変わりはないのだが、こうして運よく休みが取れている人間もまれに存在する。

「うっわ、画像付きだし。いいな、エアリスとザックスすっげえ楽しそう…」

そこには、おそらく通行人に頼んで撮影してもらったのだろう。クリスマスツリーの前に2人で並んで立ち、満面の笑みでピースサイ

ンをしているザックスとエアリスの姿があった。この2人はとてもお似合いのカップルだとロッドはもちろんのこと、他の誰もが思っている。思っているが…

「…なんかムカつく…」

「はげどだぞ、と」

このタイミングでこういうツイートをされると、カチンとくるのが人間の悲しき性だ^{さが}。いつもの何でもない日だったら普通に「楽しんで来い」とリプライを飛ばせるのかもしれないが…

レノ様 @Shin|ra|Reno|Turks 1秒前

リア充爆発しろ、と RT:@Shin|ra|Zack|F|soldier|1st 現在、女の子と一緒にクリスマス満喫なう
やっぱクリスマスはこうじゃないとな〜！！今日が休みでホントに良かったぜ！！

レノは不機嫌そうにカチャカチャとキーボードを叩き、リプライを飛ばす。それに便乗するようにな…

ロッド@新人タークス @Shin|ra|rod|Turks
1秒前

RT:@Shin|ra|Reno|Turks リア充爆発しろ、
と RT:@Shin|ra|Zack|F|soldier|1

st 現在、女の子と一緒にクリスマス満喫なう やっぱクリスマスはこうじゃないとなく！！今日が休みでホントに良かったぜ！！

無言の非公式RTという暴挙に出るロッドである。

「おいおい、なんかお前も一言入れたらどうだ、と？」

「いや、無言の威圧つてのも大事だと思わねえ？」

「まあな……」

ふー、やり遂げたと満足げな2人。しかし……

ザックス@1st @Shin|ra|Zack|F|soldi
er|1st 1秒前

@Shin|ra|rod|Turks @Shin|ra|Re
no|Turks : 何だよ、ヒデエ！！2人ともなんでそんな
に不機嫌なわけ！？

間髪いれずにリプライが飛んできた。ザックスはおそらく純粹にそ
う思ったに違いない。もしくは、冗談で2人がこのようなリプライ
を飛ばしてきたかと思っっているのだろう。だが、現実には当然ながら違
うわけで。

「こつこつこのをKYっていうんだぞ、と」

「おう、ちょーっとオレ……イラッとしたわ……」

残業＋休日無しという過酷な労働下にある2人にとっては…リミットをプラスする要因でしかなかった。

「ほら、休憩終了だ。仕事に戻るぞ」

「……リヨウカイ」

「チツ、後で覚えてるよザックス…」

そんな、やり場のない怒りをすべてザックスにぶつけつつ twitter のブラウザを閉じようとしたときだった。見慣れたアカウント名がTL上にあった。我らが上司のツオンのアカウントだ。そして、そのツイートを見た2人は…溜まっていたはずのリミットが一気に氷点下まで下がり、思わず画面とその上司を交互に見てしまった。

ツオン@主任代理 @Shin|ra|t|s|e|n|g|s|o|l|d|ie
r|1|s|t 1秒前

@Shin|ra|Zack|F|s|o|l|d|ie|r|1|s|t この
くそ忙しい時にいい度胸だ。そうだ、アイシクルロジでモンスター
ーが大量発生していると連絡があった。お前、明日行ってこい。上
には私から連絡しておく。あと……エアリスによるしくな、ザック
ス？

(コワッ！…てか、ツオンさん何気に陰湿だぞ、と…！！)

(しかも、最後のエアリスによるしくの下りは明らかに……嫉妬心
丸出し……)

触らぬツオンに何とやら。

それを、twitterを通して理解した2人は…ツオンの怒りの矛先が自分たちに向かないよう、あわてて仕事に戻った。もちろん、ツオンのツイートは見なかったことにして…。

一方、ザックスはというと…

「何だよ、レノもロッドもツオンも…」

ブスツと頬を膨らませながら、携帯の画面とにらめっこをしていた。そんな彼の様子を見て、エアリスはクスクスと笑っている。

「お仕事忙しいから、いいな〜って思ってるんだよ」

「まあ、確かにここ最近ホントに忙しいからな…」

ザックスは「寒くない？」と気遣いながらエアリスと手をつなぎ、ミッドガルに飾られた色とりどりのイルミネーションを堪能していた。

「ザックスの上司に感謝だね!!」

「そうだな〜、忙しいのに最近働けばなしだからって無理に休み入れてくれたんだよ…」

本来ならばザックスも今日は仕事だった。しかし、働きっぱなしのザックスを見たセフィロスが、たまには休めと無理矢理休みを入れたのだ。それがたまたまクリスマスという日だったため、こうしてエアリスと並んでミッドガルの街を歩いている。

「てか、リア充爆発しろってひどくない？」

「ふふっ、素直になれない2人のお返事じゃないの？」

「そぉーかぁ？もしくは嫉妬？」

「けど、ツオンのは…」

「……………いや、あれはなかったことにしよう…」

「そうだね、私には関係ないし」

他愛ない話で盛り上がってはいるが、やはりさっきのツイートが気になるらしい。だが、ツオンという名前が出た途端エアリスの笑顔に黒さが混ざった。

「……………え、っと…あ！！また誰かからリプきてる！！」

何か話題を変えようと携帯に視線をやると、別の誰かからリプライがきていた。それは、ある任務で一緒になって以来仲良くしている一般兵のクラウドだ。しかし、その内容は…

クラウド@未来のソルジャー @Shinra|ra|Cloud|S

|Officer 1秒前

興味無いね RT:@Shinra|ra|Zack|F|soldier|1st 現在、女の子と一緒にクリスマス満喫なう やっぱクリスマスはこうじゃないと…！！今日が休みでホントに良かったぜ！！

なんとも冷たい反応だった。

「…クラウドまで…」

何故だ…？ただ自分は、現状をツイートしただけなのに…。

こんなにいろんな人から罵られなければならないのか。

しかも、クラウドのツイートに至っては…最初に出会った時の素直なクラウドらしからぬ冷めた反応。さすがのザックスも、胸に何か刺さったような衝撃が走った。

「俺、なんか悪いことしたかな…」

「うーん…？」

その後も、同僚のキャンセル、友達のシスネ、その他仲良くしている人から…“リア充爆発しろ”というリプライが何通も飛んできた。のちにザックスは語る。

「もう絶対、エアリスとデートのときはツイートしない！！」

それは、初めて恋人ができた年のクリスマスに学んだ教訓だった。

ちなみに休み明けの翌日、ツオンの言っていた通り本当にアイシクルロッジに行かされた時はセフィロスに「なんで!？」と何度も詰め寄ったが…

「すまん、ツオンの気迫に負けた…」

と、英雄と称えられるセフィロスらしからぬ発言に、ザックスは凍りついたとか。

【おわれ】

(後書き)

というわけで、2011年のクリスマス企画でした^^本当は妄想樂園の方にUPするつもりだったんですが、ちょっと長くなっちゃったのでこちらにUPしました(笑)

実はクリスマスネタは、とあるフォロワーさんとお話してる時に思いついたネタで、twitterネタも同じくフォロワーさんとお話してる時に思いついたネタだったりします(笑)リア充満喫してるザックスに集中攻撃したら面白そうとか、神羅がtwitterを使うていたらこうなるだろうとか…そういう妄想から生まれた産物です(笑)

最後までお付き合いいただき有難うございましたv

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8147z/>

リア充爆発しろ!!

2011年12月25日23時52分発行